
開講科目名：民事訴訟法研究 （2単位）
開設年次：1年 2年 3年 4年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：張 瑞輝

《授業の概要》

＜授業の目的＞

実体法上の法律関係を的確に把握していることを前提として、その実体に適合する手続の流れと選択を為し得るように、手続の流れに沿って民事訴訟法の基本概念と基本構造を習得することを授業目的とする。そのうえ、民事訴訟法の重要問題（争点）について学説の生成過程と重要判例の変遷を自ら進んで整理し、通説の通説たる所以や判例の意義・射程などを正しく把握することを目指す。

《テキスト》

プリントを配布する。

《参考書》

- (A1) 伊藤眞・山本和彦（編）『民事訴訟法の争点』（有斐閣、2009年）
- (A2) 杉山悦子『民事訴訟法重要問題とその解法』（日本評論社、2014年）
- (A3) 高橋宏志・高田裕成・畑瑞穂（編）『民事訴訟法判例百選〔第5版〕』（有斐閣、2015年）
- (B1) 和田吉弘『基礎からわかる民事訴訟法』（商事法務、2012年）
- (B2) 高橋宏志『民事訴訟法概論』（有斐閣、2016年）
- (B3) 上原敏夫・池田辰夫・山本和彦『民事訴訟法 第7版』（有斐閣、2017年）
- (B4) 中野貞一郎・松浦馨・鈴木正裕『新民事訴訟法講義 第3版』（有斐閣、2018年）